

平成20年結核登録者情報調査年報集計結果（概況）

平成21年6月29日

厚生労働省健康局

担当係：結核感染症課結核対策係

電話：03-5253-1111（内線2381）

03-3595-2263（ダイヤルイン）

本資料は厚生労働省ホームページに掲載する予定です。

掲載場所：<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou03/index.html>

【概況】

平成20年 年報のポイント

- 1 新登録結核患者数、罹患率
- 2 結核登録者数、有病者数、有病率
- 3 死亡者数、死亡率、死亡順位

【参考資料】

- 1 諸外国と日本の結核罹患率
- 2-1 結核罹患率の都道府県別おもな順位
- 2-2 結核罹患率（前年比）の都道府県別おもな順位
- 3 結核の死亡数及び死亡率の年次推移
- 4-1 新登録結核患者数及び罹患率の年次推移
- 4-2 新登録結核患者数及び罹患率の年次推移（菌喀痰塗抹陽性肺結核患者数、再掲）
- 5-1 年次別・年齢階級別 新登録結核患者数
- 5-2 年次別・年齢階級別 菌喀痰塗抹陽性肺結核新登録患者数
- 5-3 年次別・年齢階級別 新登録潜在性結核感染症（LTBI）治療対象者数
- 5-4 年次別・年齢階級別 新登録結核患者に対する新登録LTBI治療対象者の比
- 5-5 年次別・年齢階級別 外国籍新登録結核患者数
- 5-6 年次別・年齢階級別 外国籍新登録結核患者数（入国5年以内、再掲）
- 6-1 年次別・年齢階級別 結核罹患率
- 6-2 年次別・年齢階級別 結核罹患率（菌喀痰塗抹陽性肺結核患者、再掲）
- 7-1 新登録結核患者数 都道府県別・年次推移
- 7-2 結核罹患率 都道府県別・年次推移
- 8 結核登録者数及び有病率の年次推移
- 9 結核死亡数及び死亡率の年次推移（人口動態統計）
- 10 年次別 前回治療開始年代別再治療者数（割合）
- 11-1 発病から初診までの期間が2か月以上の割合
- 11-2 初診から診断（登録）までの期間が1か月以上の割合
- 11-3 発病から診断（登録）までの期間が3か月以上の割合
- 12 年次別 新登録肺結核培養陽性結核患者の薬剤感受性検査結果
- 13 年次別 新登録結核患者の糖尿病合併あるいはHIV感染
- 14-1 年次別 医療従事者の新登録結核患者数（看護師・保健師）
- 14-2 年次別 医療従事者の新登録結核患者数（医師）
- 14-3 年次別 医療従事者の新登録結核患者数（その他）
- 15-1 年次別 無職臨時日雇等の新登録結核患者数
- 15-2 年次別 無職臨時日雇等の新登録結核患者数（男性、再掲）

平成20年結核登録者情報調査年報集計結果（概況）

- 本年報は、全国の保健所を通じて報告される結核登録者の状況（平成20年1月1日～12月31日）を取りまとめたものである。

平成20年 年報のポイント

- 結核罹患率は前年20を下まわり、引き続き低下傾向にあるが、未だ2万4千人以上の患者の発生がある。

（参考資料 4、5、6 参照）

新登録結核患者数 24,760人

罹患率（人口10万人対の新登録結核患者数） 19.4 （対前年比0.4減）

- 70歳以上の高齢結核患者は新登録結核患者の半数に近づきつつあり、その割合は増加傾向にある。

（参考資料 5-1 参照）

70歳以上の新登録結核患者の占める割合 48.9%（H19 47.9%、H18 47.0%、H17 44.9%）

- 働き盛りの感染性のある結核患者では、受診の遅れ（2か月以上の割合）は依然大きい。

（参考資料 11-1 参照）

全年齢有症状肺結核 18.2% 30-59歳有症状喀痰塗抹陽性肺結核 32.3%

- 20歳代の新登録結核患者の約4人に1人は外国籍結核患者であり、その割合は増加傾向にある。

（参考資料 5-1、5-5、参照）

20-29歳新登録結核患者数 1,823人

外国籍結核患者数 468人（25.7%）（H19 20.3%、H18 19.8%、H17 16.4%、H16 15.9%）

- 結核罹患率の地域差は依然大きく、大都市で高い。（参考資料 2、7 参照）

大阪市（50.6）、名古屋市（31.5）、堺市（28.9）、東京都特別区（28.6）の罹患率は、それぞれ長野県（10.2）の5.0倍、3.1倍、2.8倍、2.8倍である。

- 世界的に見て、日本は依然として結核中まん延国である。（参考資料 1 参照）

日本の罹患率（19.4）は、米国（4.3）の4.5倍、カナダ（4.7）の4.1倍、スウェーデン（5.4）の3.6倍、オーストラリア（5.5）の3.5倍。